

「地域みらい留学」の生徒募集のプロモーション強化を狙いとした 留学先の地域や地元の人の魅力をチエ体験できる2泊3日程度の地域体験プログラム

『おためし地域留学』の実施背景

-「地域みらい留学」の現状-

- ①全国140校以上の参画校が存在
- ②参加者の裾野も拡大（800人以上が受験検討）
- ③5000人以上の合同説明会などへの参加者

-「地域みらい留学」の課題-

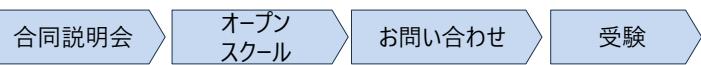
- ①選択肢の増加により意思決定の難易度が高まる
- ②生徒の多様化により受け入れ体制の構築が募集に影響
- ③特色ある高校が増加したため差別化の難易度が高まる

-「おためし地域留学」で実現したいこと-

- 「地域みらい留学」につながるきっかけ・はじめの一歩づくり
 - 中3生の意欲醸成つながる進学プロモーション強化
 - 中2生を中心とした早期接点・早期認知の獲得
- ※地元中学生のプログラム参加による地元生へのPRも可能

『おためし地域留学』の位置付けとポイント

【地域体験×人との出会い】を通じた強い意欲醸成



学校の魅力を伝える場
+
地域の魅力を味わう場

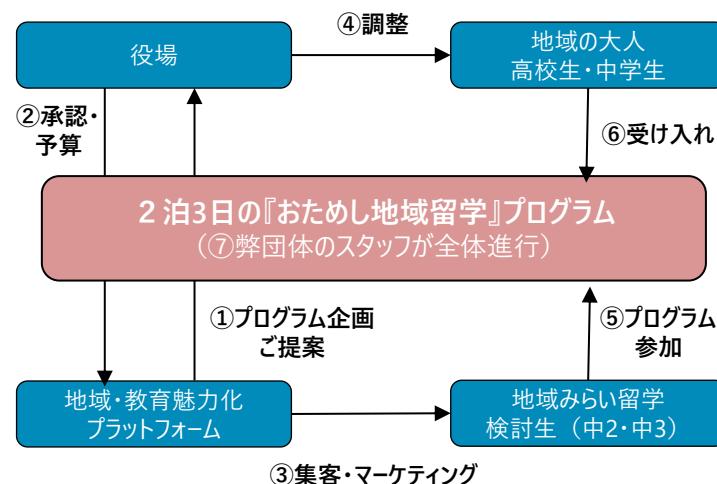
学校の魅力を伝える場だけではなく、
地域の魅力を体験する機会を通じて、
多角的・総合的に学校や地域を
知ることが意欲醸成につながる

おためし地域留学

- 企画Point① その地域ならではの体験を通じて地域を好きになる
- 企画Point② 地域の大人と出会い、生き方や考え方を学ぶ
- 企画Point③ 未来の先輩や友達と出会い、関係性を深める

『おためし地域留学』で実施までの流れ

「企画-集客-当日進行」をワンストップで支援



『おためし地域留学』の効果

(2024/09/20時点)

【町への再訪意欲 + 進学意欲】の向上

- | | |
|------------|------|
| ★プログラム満足度 | 100% |
| ★地域への再訪意欲 | 100% |
| ★高校への興味関心度 | 92% |
| ★プログラム申込率 | 100% |

2024年度は7地域での実施、現状高い満足度を実現。
再訪意欲の向上や合同説明会でブースに立ち寄る頻度の
増加など、参加した自治体に対するポジティブな行動変化あり。

地元中学生も絡めたツアーを実施することで
地域内の進学率向上への効果も期待できる。